

令和8年度 学習計画(シラバス)

教科	科目	対象学年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所
国語	現代の国語	1年	2	山口幸恵	『改訂版 高等学校 現代の国語』 坪内稔典 他30名(数研出版)	重要領出漢字リアルマスター3300(尚文出版) 力をつける現代文1.5(数研出版)
指導の重点		1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。 3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通してのや社会に関わろうとする態度を養う。				
評価の観点		知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。			
		思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			
		主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。			
学習の評価		1. 定期考査や課題テストで「知識・理解」「思考・判断・表現」を評価する。 2. 授業中のペアワークやグループワーク、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3. 課題提出で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 4. 上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。				
学期	月	考査	単元	学習内容	学習の目標(評価)	
1	4	中間	現代文入門	評論の読み方	【知技】評論文の特徴を理解し、他の文章との違いを説明できる。 【思判表】「読むこと」において、文章の種類や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	
			一般論と主張	「わらしべ長者」の経済学	【知技】文、語、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思判表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主】自分の考えが適切に伝わるように、主張や論理の説明を積極的に捕捉しながら意見交換を行っている。	
			論理とレトリック	論理的ということ	【知技】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主】文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。	
			対比の構造	倫理と道徳	【知技】文、語、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 【思判表】「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主】文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	
			具体と抽象	ものとことば	【知技】言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思判表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主】筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	
	6	期末	実用の文章3	目的に合わせて表現を工夫する	【知技】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しきなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思判表】「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主】実用的な文章の身近な事例を積極的に調べ、学習課題に沿って適切な形式の文章を用いてまとめようとしている。	
			対比の構造	水の東西	【知技】個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思判表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主】筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
			文章トレーニング2	要約する	【知技】実社会に置いて理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や言葉遣いの構造や特色、用法及び表現の仕方などを理解し、語や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き言葉を豊かにしている。 【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主】筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
			比較する	政治的思考	【知技】実社会に置いて理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や言葉遣いの構造や特色、用法及び表現の仕方などを理解し、語や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き言葉を豊かにしている。 【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主】筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
			文章トレーニング3	比較する	【知技】文、語、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 【思判表】「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主】作品について自分の考えを持ち、文章の構成に注意しながら積極的に批評文を書こうとしている。	
2	11	期末	背景を理解する	ポスト・ブライバシー (p.55 グラフの読み取り)	【知技】推論の仕方を理解し使っている。 【思判表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主】筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。	
			ズームアップ	情報とメディア	【知技】実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主】具体的な話題について、マス・メディアに掲載された情報と、インターネット上で個人が発信している情報とを積極的に集め、課題に沿って考えたことをまとめようとしている。	
			問題提起	命は誰のものなのか	【知技】主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりしている。 【主】筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	
3	2	学 年 末	背景を理解する	私有への欲望	【知技】比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 【思判表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主】筆者の意見を踏まえ、実社会における具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	
			実用の文章5	資料を分析して考えをまとめる	【知技】推論の仕方を理解し使っている。 【思判表】「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主】資料を踏まえて積極的に身近な例を考え、学習課題に沿って具体的にまとめようとしている。	
			文章トレーニング4	論証する	【知技】推論の仕方を理解し使っている。 【思判表】「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主】資料を踏まえて積極的に身近な例を考え、学習課題に沿って具体的にまとめようとしている。	